

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年02月27日

計画の名称	防災のまち新座の実現にむけて（防災・安全）											
計画の期間	令和04年度～令和06年度（3年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	新座市											
計画の目標	誰もが住みたくなる安心して暮らせる防災のまち新座を下水道整備で支える。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,846	A	1,846	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 令和4年	中間目標値 令和5年	最終目標値 令和6年
1	汚水ストックマネジメント計画(R4～R6)に基づく調査が必要な管渠のうち、100%を調査実施済みとする。 汚水ストックマネジメント計画(R4～R6)に基づく調査 調査実施済みの管渠延長(km) / 調査が必要な管渠の延長(90km)	0%	50%	100%
2	汚水ストックマネジメント計画に基づく改築の実施により、ライフサイクルコストを6.3億円/年縮減する。 汚水ストックマネジメント計画(R4～R6)に基づく改築 改築実施済みの管渠延長(km) / 改築が必要な管渠の延長(0.9km)	0%	50%	100%
3	雨水ストックマネジメント計画の策定の進捗率をR6末で、100%とする。 雨水ストックマネジメント計画の策定の進捗率 計画策定までに実施済み項目 / 計画策定までに実施すべき検討項目(29項目)	0%	50%	100%
4	R6末までに実施すべき浸水対策面積の浸水対策達成率を100%とする。 下水道整備による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積(ha) / 浸水対策を実施すべき面積(860ha)	93%	96%	100%
5	新座市雨水管理総合計画に基づく重点対策地区のうち、柳瀬川右岸第2排水区において1/7確率の降雨への下水道事業による重点対策達成率を0%(R5)から30%(R6)とする。 下水道整備による重点対策達成率（柳瀬川右岸第2排水区） 下水道事業による重点対策完了済み面積(ha) / 下水道事業による重点対策を実施すべき面積(ha)92.715ha / 309.05ha=30%	0%	0%	30%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
次の要素事業については別計画からの移行となる。本計画が完了した後に、一括で事後評価を行う。 新座市における持続的な快適環境の実現にむけて から移行 A07-001、A07-002、A07-003、A07-004、A07-005												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	新座市	直接	新座市	管渠(汚水)	-	ストックマネジメント事業	調査が必要な管渠(L=90km)	新座市						120		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-002	下水道	一般	新座市	直接	新座市	管渠(汚水)	改築	ストックマネジメント事業	改築が必要な管渠(L=0.9km)	新座市						390		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-003	下水道	一般	新座市	直接	新座市	管渠(雨水)	-	ストックマネジメント事業	計画策定・調査	新座市						50		-
	A07-004	下水道	一般	新座市	直接	新座市	管渠(雨水)	新設	柳瀬川排水区幹線・枝線整備	幹線整備(L=1.2km)、枝線整備(L=1.2km)	新座市						558		-
	A07-005	下水道	一般	新座市	直接	新座市	管渠(雨水)	新設	黒目川排水区幹線・枝線整備	幹線整備(L=1.2km)、枝線整備(L=1.2km)	新座市						558		-
	A07-006	下水道	一般	新座市	直接	新座市	管渠(雨水)	新設	柳瀬川排水区管渠整備	管渠整備(L=0.2km)	新座市						170		策定済
		雨水管理総合計画																	
											小計						1,846		



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 「新座市社会資本整備計画評価委員会」の実施	事後評価の実施時期 令和7年12月18日
	公表の方法 ホームページにて委員会の議事録を公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	汚水ストックマネジメントに基づき、調査進捗率を0%から100%とし、目標を達成した。 改築工事を実施したが、計画の65%の達成に留まった。 雨水ストックマネジメント計画策定は、他の優先業務との調整により、達成率0%となった。 10か年計画に基づく、整備を行ったことで、目標に対して99%達成できた。 雨水管理総合計画に基づく、重点対策のうち0%から30%とし、目標を達成した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	全工区完了時に供用開始となることから、効果の発現には至らなかった。
特記事項（今後の方針等）	
<p>雨水事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨水ストックマネジメント計画を策定し、効果的な維持管理を行うとともに、計画的な改築・更新を着実に実施する。</li> <li>雨水管理総合計画に基づき、重点対策地区である柳瀬排水区については、対策の達成率を残りの30%から100%を目指す。</li> <li>雨水管理総合計画に基づき、重点対策地区である黒目排水区については、対策の達成率を0%から100%を目指し、段階的に整備を進める。</li> <li>事業計画区域における浸水対策達成率100%を目指す。</li> </ul> <p>汚水事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>汚水ストックマネジメント計画に基づき、効果的な維持管理を行うとともに、既設管渠の改築・更新を計画的かつ着実に実施する。</li> </ul>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
汚水ストックマネジメント計画 (R4～R6) に基づく調査が必要な管渠のうち、100%を調査実施済みとする。		
2	最終目標値	100%
	最終実績値	65%
汚水ストックマネジメント計画に基づく改築の実施により、ライフサイクルコストを6.3億円/年縮減する。 補助対象の箇所がなく市単独費で整備したため。		
3	最終目標値	100%
	最終実績値	0%
雨水ストックマネジメント計画の策定の進捗率をR6末で、100%とする。 他事業との優先度の兼ね合いから遅れが生じ、令和7年度策定としたため。		
4	最終目標値	100%
	最終実績値	99%
R6末までに実施すべき浸水対策面積の浸水対策達成率を100%とする。 既設整備済エリア内にて、分水のために通過管の整備を実施したことにより、既存施設の流下能力向上を図ったため。		

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
5	最終目標値	30%
	最終実績値	30%
<p>新座市雨水管理総合計画に基づく重点対策地区のうち、柳瀬川右岸第2排水区において1/7確率の降雨への下水道事業による重点対策達成率を0%(R5)から30%(R6)とする。</p> <p>令和5年度からは、防災のまち新座の実現にむけて（防災・安全）（重点計画）へ移行し、事業を継続して実施した。</p>		